



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第5号 2022年7月22日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

明日からいよいよ夏休みが始まります。ゆっくりと体や心を休めるとともに、計画的に学習に取り組み、一人ひとりが安全で有意義な夏休みを過ごせるようお祈りしています。夏休み明け、また元気にお会いしましょう。



8月の予定

		行事	弁当
1	月	SOFIS(1日目)	
2	火	SOFIS(2日目)	
3	水	SOFIS(3日目)	
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木	山の日 学校閉鎖 (~17日)	
12	金		
13	土		
14	日		
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土	聖心女子大説明会	
21	日		
22	月		
23	火		
24	水	始業日・放送朝礼 地理コンテスト①1限	要
25	木		要
26	金		要
27	土	サタデープログラム⑧	
28	日		
29	月	理事長・常務理事公式訪問 (~31日)	要
30	火	放送朝礼(理事長より) 最終下校 16:30 職員会議(16:40~)	要
31	水	梅干し弁当募金④ 課題研究ミーティング④	要

- ☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。
- ☆ 梅干し弁当: 昼食はおにぎりのみとし、おかず代分の募金をします。
- ☆ 行事予定は暫定のものです。大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

梅干し弁当募金

7月6日(水)に行われた梅干し弁当募金は、国際 NGO AAR Japan「難民を助ける会」でウクライナ国内避難民への物資提供に役立てていただくために行いました。AAR はポーランド・ウクライナ両国にネットワークを持つポーランドのカトリック教会の「汚れなき聖母マリアの修道女会」と連携して、支援物資を陸路越境してウクライナ西部に輸送する活動を行っています。みなさまのご協力により、**総額 38,282 円**を送金することができました。
 ありがとうございました。

Congratulations!!

公益財団法人風に立つライオン基金主催
 高校生ボランティア・
 アワード 2022
 大会ロゴ
 (テーマ:持続可能な未来へ)
 優秀賞
 高2G 原田安珠



国際文化ミーティング

**「紛争解決学入門
 ~身近な人間関係から
 国際紛争までを扱う学問の
 魅力とは~」**



7月6日(水)は、北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科准教授・片岡徹先生をお迎えして、国際文化ミーティングを行いました。

紛争解決学(Conflict Resolution)という学問は、1989年の冷戦終結後に急速に体系化されてきた学問領域です。紛争解決学には、国際関係論や国際政治学のみならず、実は心理学やコミュニケーション学等の知見も応用されています。ウクライナの問題が深刻化している現在、「戦争が終わった後が本当に大変なのだ」という先生のお言葉が心に残る大変興味深いお話をいただきました。

今月のこころのことは



「心の貧しい人は幸いである。天の国は
その人たちのものである。」 (マタイによる福音書 第5章3節)

聖書の言葉には意外性のあるものがよくありますが、この言葉もとても不思議な言葉だと思います。普通であれば「心の豊かな人々は幸い」となるのかと思いますが、主イエスは全く逆のことを言われています。神様のお考えは人間の価値観と違うのかなと感じるところですが、なぜ貧しいことが幸いなのでしょう。

フィリピンのスラムにホームステイした人が、「家族に一匹の魚を喜んで分けてくれた。近所の人困っていたらすぐ助け合う姿に『心の貧しい人は幸い』という言葉の意味は、『分かち合うことができる人は幸い』ということだと思う」と話してくれ、なるほどと思いました。所有にこだわる私たちに、分かち合う生き方が人の幸せであると教えたイエスのみこころを祝う記念行事が先日ありました。その振り返りを読むと、その教えは確かに一人ひとりに伝わっていることがわかります。

ある高校生は、「誰かに寄り添うイエスのみこころを思い、それを大切に、自分のできることをこれからもしていきたいと思います。今日はこのあと献血に行きます」と書いていて感動しました。私たちは、いつでも、どんな状況の中でも、分かち合う者でありたいと、改めて思いました。

〔校長 齊藤 隆浩〕

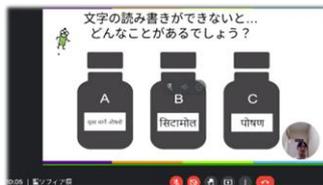
聖ソフィア祭の様子 (7/16 土)

今年度の聖ソフィア祭のテーマは、「Campanella」でした。「Campanella」はイタリア語で「小さい鐘」という意味の単語です。一つひとつ音色の異なる美しい鐘が聞く人の心を浄化するように、個性、感性豊かな私たちが互いの音色を尊重し奏で合うことで、より美しい音色を多くの人に届けられますように。

今年度も校内祭のみの開催となりましたが、オンラインと対面を組み合わせ記憶に残る充実した1日となりました。



オープニング



世界一大きな授業(SIA部)



演劇部



箏曲愛好会



高3模擬店



バンド演奏(HARIBO)



ダンス発表(小宮姉妹)



オーケストラ部



コーラス部



フェアトレード販売・展示
(社会福祉委員会)



中2宗教・アイヌ文化展示



クロージング